

# ー森林・林業に取り組む町の現場からー

## 日南町の森林林業にかかわる現場の方のお話をお届けします

### ・山陰丸和林業生山事業所（新宮領所長代理）

日野川の森林木材団地にて、チップ製造等を行っている山陰丸和林業生山事業所・新宮領所長代理にお話を伺いました。

この事業所では、日南町の間伐材等を受け入れ、チップ加工して客先へ出荷しています。割合としては9割強、ほぼ全量が日南町の木材を扱っています。原料となる丸太は樹種を問わず受け入れをしています。針葉樹チップは兵庫県の板紙(段ボール)の製紙工場へ、広葉樹チップは米子の王子製紙(印刷用紙・塗工紙)むけに出荷しています。



工場は3000トン/月の生産能力があります。生山事業所では工場・山林作業員を含めて11人が仕事をしていて、町外から来ている人もいます。

3月からは、境港市にて木質バイオマス発電を行う㈱日新に1000トン/月のチップを納入します。バイオマス発電には電力の固定価格買い取り制度があり、安定した出荷先となります。この事で日南町の間伐が促進されていけばより良い山になっていくと思います。

人材育成については、未経験者でもやる気がある人であれば採用し、仕事を覚えてもらっています。日南町や周辺の町に若い人が増えると活気のあるまちになります。仕事に応募してくる人も増えてくる、好循環が期待できます。(記者より)所長代理のお話では、作業は安全第一で行っているとの事でした。お忙しい中、ありがとうございました。

### ・㈱グリーンシャイン（平田代表取締役）

旧日野上小学校を改装した「サテライトオフィスいちよう」内に、㈱グリーンシャインの事務所があります。森林整備全般(植林・育林・伐木・搬出・作業路作設)、新生産販売などの他、冬季の除雪作業も行っています。平田代表取締役にお話を伺いました。

今年は新しい林業作業機械(ロングリーチハーベスタ)を木材生産事業協同組合よりリースを受けます。通常のハーベスタより2m長い腕があり、広い範囲の作業を行えます。

山を良くするために、もっと間伐を進めていきたいと思っています。自分が若い頃に植え、枝打ちをし、切り捨て間伐をしてきたような森林もあり、全伐の時などは感慨があります。今、40~50年生の木が多く、林齢を平均化する必要性を感じています。新しく植林を進めていかないといけません。

世間的には森林に関する関心が高まってきているのを感じます。グリーンシャインでもFSC(森林管理認証)に則った施業をしています。間伐の際には元気の良い木を残すだけでなく、生態系が維持できるような森づくりを作業員全員が意識し、作業を進めています。作業員の確保、木材の需要の拡大などの課題が解決されれば森林整備も進むと思います。何とか解決したい課題です。

(記者より)グリーンシャインは日南町の林業を牽引している事業者です。取材協力ありがとうございました。

